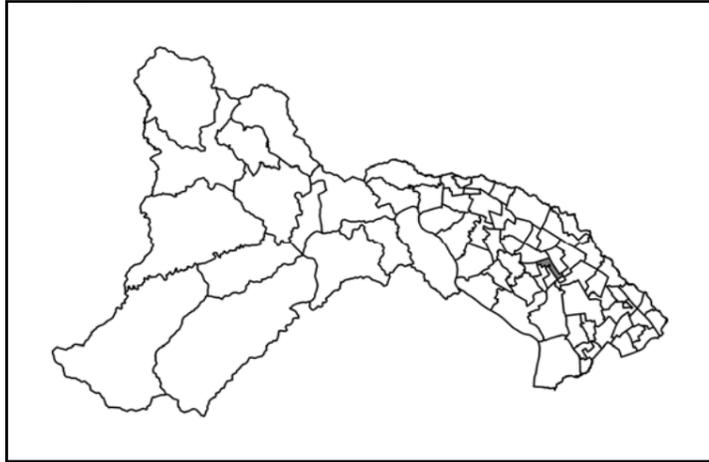


○地区を構成する町丁

【中央区】青葉1丁目、並木1丁目～3丁目、光が丘1丁目・2丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

光が丘(並木1丁目、並木2丁目、並木3丁目、並木団地、市営並木団地、青葉1丁目、自治会法人青葉二丁目、自治会法人光が丘1・2丁目、ひかり)

○地区概況

台地(上段)にあり、地区の中央から南東部にかけて浅い谷がある。ほとんどが住宅地として利用され、一戸建住宅が多い。北端は県道57号相模原大蔵町線に接する。

○建物数・人口

区分	建物(棟数)		人口(人)	
	棟数	比率	人数	比率
木造(昭和55年以前)	642	29.8%	228	3.4%
木造(昭和56年以降)	1,126	51.2%	4,589	68.2%
非木造(昭和55年以前)	75	3.4%	1,903	28.6%
非木造(昭和56年以降)	302	13.6%	1,903	28.6%
合計	2,145	100%	6,720	100%

○所見

- ・全体に整然とした区画の住宅地であるが、生活道路は狭いところも多い。
- ・中央部から南東部にかけての浅い谷は平坦化されている。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	
消防団詰所	光が丘
病院等	梨本病院
主な災害時要援護者施設	ピコワークス、青葉ぶどう園、(仮称)グループホーム幸せふくろう並木、ゆうゆう荘・あすか、グループホーム あふり、生活ホームフロイデ
幼稚園、保育園	和泉保育園
学校、大学	和泉短期大学、並木小学校
避難所	並木小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	並木小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

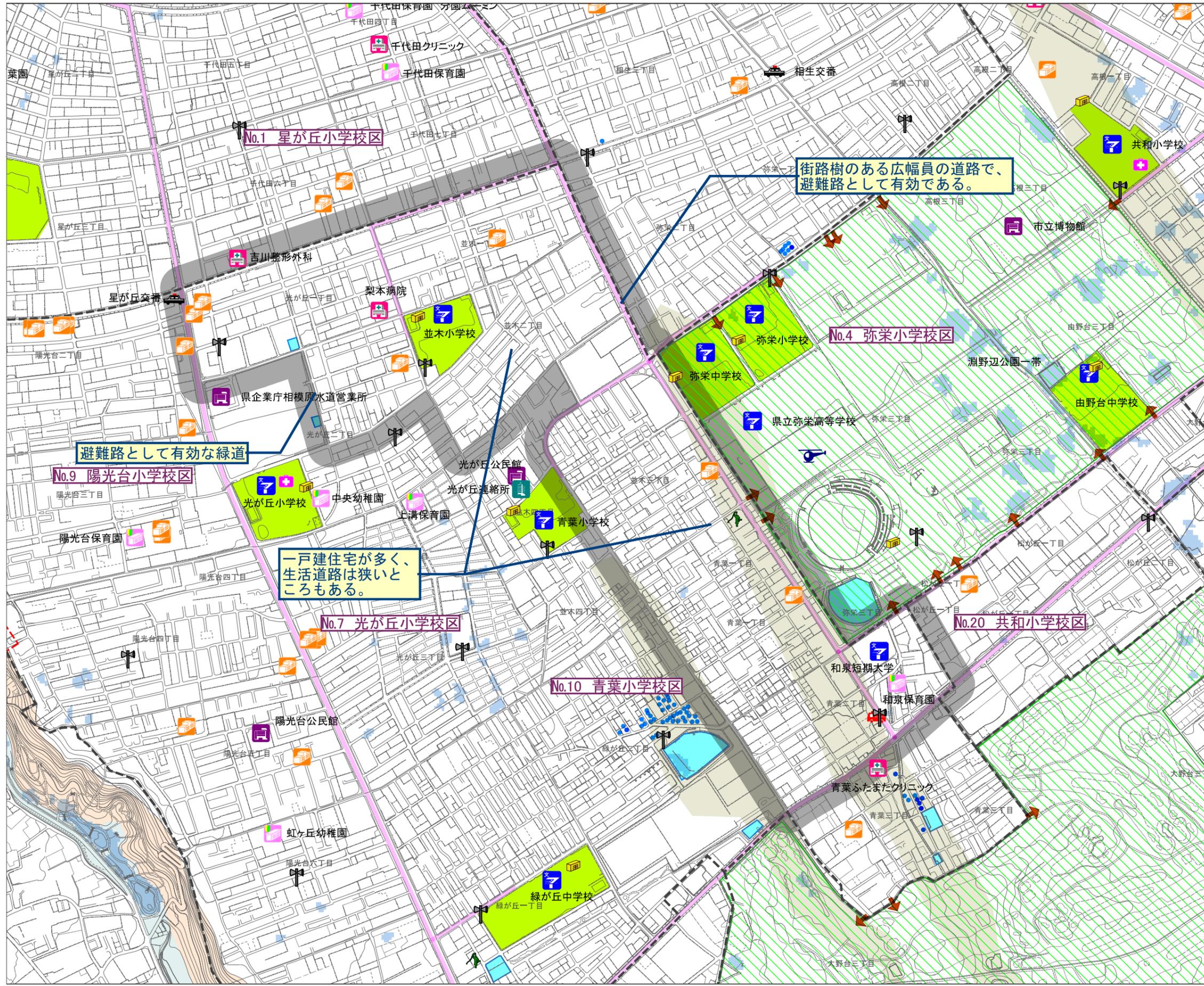
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	113棟	5.3%	32棟	1.5%	18棟	0.8%
建物焼失	38棟	1.8%	2棟	0.1%	0棟	0.0%
死者	7人	0.1%	2人	0.0%	1人	0.0%
閉込者	35人	0.5%	10人	0.2%	6人	0.1%
重傷者	8人	0.1%	2人	0.0%	1人	0.0%
軽傷者	50人	0.7%	27人	0.4%	20人	0.3%
避難所避難者(当日)	313人	4.7%	100人	1.5%	62人	0.9%
避難所避難者(1週間後)	637人	9.5%	374人	5.6%	297人	4.4%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	■■■■
土砂災害	■■■■
地震による地盤災害	■■■■
地震による建物被害、火災	■■■■

○近年の主な災害履歴

なし



防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設 幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

